

※※ 新型コロナウイルスとインフルエンザへの対応 ※※

この冬は新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行しています。当グループでは感染症対策の徹底と不幸にも感染してしまった場合や家族が感染した場合のガイドラインを決め、従業員間の感染拡大による業務の停滞を防止しています。

	濃厚接触者	感染者
インフルエンザ	自宅待機無し	5日間の自宅待機と解熱後2日間
新型コロナ	自宅待機5日間、検査により陰性の場合は2日短縮	7日間の自宅待機と咳などの症状が出ていない事

凍ってからでは遅い!?

水道管の凍結にご注意ください

凍る前にしっかりと準備しましょう!



☆予防策☆

- ①水道管に保温材を巻く（布や毛布など）
- ②水をしっかり落とす。
- ③基礎周りの換気口を閉める。
- ④電熱線のコンセントを入れる。

日本気象協会が運営するサイト tenki.jp 指数情報の中の水道凍結指数などを参考にしてみるのもいいかもしれませんね。

- (1) 外水道の水栓柱などには布や毛布、発泡スチロールなどを巻いて、外側をビニールで覆って水で濡れないように保温します。給湯器の場合は、本体周辺の露出している水道管が特に凍結しやすい部分のため、その周りを布や発泡スチロールなどで保温します。
- (2) メーターボックス（青色の樹脂製のフタや茶色の鉄製のフタが目印）内の水道管やメーターにはビニールで包んだ布、発泡スチロールなどを水道検針に支障がない程度に詰めて保温します。
- (3) マンションやアパートなどの集合住宅の場合は、メーター周りの露出した水道管などに布や発泡スチロールを巻き、保温します。
(メーターは玄関の横などにあるパイプシャフトの中にあります。)(小川町HPより)



訂正とお詫び 環境だよりNo267「知っておきたい体の健康豆知識」記事内の血糖値の標準値の数値に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、左記の通り訂正させていただきます。正しくは80~110mgとなります。

浄化槽は1年に1回以上の清掃が法令により義務付けられています



浄化槽を適正に使用していても1年間程度経過すると浄化槽の中に、少しずつ水に溶けない固形物や汚泥が溜まってきます。これをそのままにしておくと、臭いや水質悪化の原因になります。



川や湖、海の汚れの主な原因は家庭から出る生活排水です。浄化槽の適切な管理と清掃はきれいな水を守るためにとても大切な事です。

浄化槽の中に溜まった汚泥やスカム（気泡によって浮き上がった汚泥）を1年に1回以上くみ取り、浄化槽の清掃をしましょう。

※全ぱっ気式はおおむね6ヶ月に1回以上。



浄化槽をご使用されている場合の義務について

浄化槽をご使用される場合、以下の3点の実施が義務付けられております。

浄化槽の機能を十分に発揮させる為にも正しい管理をしましょう。

- 清掃
定期的なバキューム車での汚泥引抜、機器洗浄
- 点検
定期的な機器等の点検・調整
- 法定検査
指定検査機関での年1回の機能診断

ご不明な点などがございましたら、当社へお気軽にお問い合わせ下さい。



暮らしの知恵袋

意外に役立つ輪ゴム活用法

事務用品としてだけでなく、キッチン用品としても便利な輪ゴム。意外な場面で活躍する輪ゴムの活用法をご紹介します。

◆ハンガーの滑り止めに
ハンガーに掛けてクローゼットに入れた洋服が出し入れするうちにずり落ちたり、洗濯物が少しの風で落ちてしまったりすることがあります。そんな時は、ハンガーの両端に輪ゴムを巻き付けてみてください。そこで洋服がとどまるので、ずり落ちる心配がなくなります。

◆ソーブ類の出し過ぎをストップ
シャンプーやボディソープ、ハンドソープはプッシュ式のボトルのことが多いと思いますが、ギュッと勢よく押すと、必要以上に出してしまう事があります。出し過ぎを防止するための、ボトルのプッシュ部分の下部に輪ゴムを巻いてみましょう。押し込みが輪ゴム部分でストップするので無駄がなくなります。

係りからの便り 汚水処理係

浄化槽清掃を怠ると放流水質が悪化し汚泥が流出してしまうこともあり生活環境に悪い影響を及ぼしてしまいます。年に1回以上の清掃の実施（全ぱっ気方式は半年に1回以上）と浄化槽法で義務付けられております。定期的な浄化槽の清掃をよろしくお願いいたします。

私達は「生活の困った」に直結する仕事をしております。お困りの際は是非ご用命下さい。 浄化槽清掃 浄化槽維持管理 浄化槽修理 一般汲取
各種工事修理 各種清掃 害虫駆除 水漏れ修理 排水管清掃 側溝清掃 一般廃棄物収集 産業廃棄物収集 店舗飲食店事業ごみ収集 粗大ごみ収集

